



2019.05 / Vol. 40 / Soccer Journal デュッセルドルフ生活を楽しくするマガジン

フォルトゥナ通信

FORTUNA AKTUELL - Japanese Version



ブンデスリーガ1部残留!

KLASSENERHALT GESCHAFFT!

タカ、2年間ありがとう

DANKE TAKA FÜR DEINE 2 JAHRE





#oneteamonefamily

ロイヤルパートナー

高性能タイヤとトップアスリート



www.toyo.de



@ToyoTireDeutschland

TOYO TIRES

日本人フォルトゥナファンの皆様、 Liebe japanischen Freunde von Fortuna Düsseldorf

フォルトゥナ・デュッセルドルフ会長 トーマス・ルウトガーマン
Thomas Röttgermann, Fortuna Düsseldorf Vorstandsvorsitzender

この度、日本人フォルトゥナファンの皆様に対して、ご挨拶する機会を得ることができたことを非常に嬉しく思います。私は新しくクラブの会長に就任してからの数週間で、この街の日本人社会がフォルトゥナ・デュッセルドルフにとっていかに重要であるかということを感じております。

今シーズンの我々は、第28節終了時点でブンデスリーガ残留という大きな目標を達成することができましたが、それもすべてはTOYO TIRE様、日立グループ関係各社様、旭化成様、マキタ様、富士フイルム様ら日系パートナーの皆様が、苦しい時期も共に歩み、サポートして下さったからにほかありません。

また6連敗後のヘルタ・ベルリン戦での4-1という勝利が、我々のチームにとっては最大のターニングポイントになりましたが、日本人選手である宇

佐美貴史がこの試合で決めた素晴らしい先制ゴールは、全てを負の流れから解き放ち、選手たちも自信を取り戻すことができました。だからこそ“TAKA”は、フォルトゥナのこの輝かしいストーリーの中でも非常に重要な存在であることは間違いありません。

また今シーズンのフォルトゥナでは、ユースアカデミー所属のチームでも三宅海斗とアペルカンプ真大という2人の日本人タレント選手が活躍してくれました。三宅はU23チームで15スコアラーポイント(8得点7アシスト)を記録し、またアペルカンプもU19チームのキャプテンとして11得点を挙げるなど、両チームの所属リーグ残留に大きく貢献してくれました。

私はこれからもフォルトゥナと日本人の皆様との関係性を続けていきたい



と思っています。個人的には是非とも日本を訪問し、我々のパートナーシップをより強固なものにしていければとも考えています。来シーズンはまた、非常に大きな挑戦が我々を待ち受けていますが、一人でも多くの日本人ファンの皆様にスタジアムにお越しいただき、皆様と共に戦っていくことができれば幸いです。皆様のご来場はどんなときもウェルカムですので、これからも応援よろしくお願い致します。

Impressum



Herausgeber 発行元:
Fortuna Düsseldorf 1895 e.V.
Pflinger Broich 87
40235 Düsseldorf

Leitung 情報管理:
Thomas Gassmann
(medien@f95.de)

Chefredaktion 編集長:
Gengo Seta
(japandesk@f95.de)

Fotos 写真:
Christof Wolff,
DFL

Layout レイアウト:
Christian Lewandowski

Druck 印刷:
Clasen GmbH



後期もジャイアントキリング!

Fortuna ärgert weiter die Großen!

昇格チームとして挑んだ2018/19シーズン、最もサプライズなチームとなったのは紛れもなくフォルトゥナだった。途中6連敗もあり18位に沈むなど苦しい時期も過ごした前期だったが、終盤には当時無敗で首位に立っていたボルシア・ドルトムントを破るなど3連勝を飾ると、勢いそのままに後期でもFCシャルケ04やボルシア・メンヘングラートバッハ、SVヴェルダー・ブレーメンなどの強豪クラブを破るジャイアントキリングを見せ続け、今季最大の目標であったブンデスリーガ残留を勝ち取ることとなった。

第24節

FC SCHALKE 04 **0-4** F95



2月6日に行われたドイツ杯3回戦ではFCシャルケ04に0-4の完敗を喫していたフォルトゥナだが、1ヶ月も経たないうちにリーグ戦で再びシャルケと対峙し、リベンジに成功する。

試合は前半からフォルトゥナが次々に得点のチャンスを掴む展開に。まずは22分、ドディ・ルケバキオが抜け出してゴールネットを揺らすも、これはビデオ判定の結果、その直前のプレーがファールと判

断されてしまう。それでも35分、再びビデオ判定が行われ、その結果フォルトゥナにPKが与えられると、このチャンスをルケバキオが決めて、前半は1点リードで折り返すことに。

後半に入っても堅守速攻のスタイルを貫くフォルトゥナは、相手の隙を突いたカウンターで追加点を奪っていく。まずは62分、ベニート・ラマンからのロングパスを受けたダヴィッド・コフナツキが抜け出してゴ

ールを決めると、その6分後にはラマン自身がルケバキオからのパスを受け、豪快にゴールネットを揺らし、リードを3点に広げることに。さらに84分には、途中投入された宇佐美貴史が、右サイドからドリブルを仕掛けてそのままシュート。一度は相手GKに阻まれるも、そのこぼれ球をコフナスキが押し込んで4-0。これによりフォルトゥナが、チャンピオンズリーグ出場クラブから大金星を挙げる結果となった。

第27節

F95 3-1 BORUSSIA MÖNCHENGLADBACH

チャンピオンズリーグ出場を目指すボルシアMGとのダービーマッチは、ソールドアウトとなったメルキュア・シュピールアリーナで、52500人が見守る中キックオフを迎えた。

すると試合は誰も予想しない立ち上がりとなる。6分、フォルトウナのお家芸とも言える高速カウンターが炸裂すると、ラマンのパスを受けたロウヴェン・ヘニングスが相手ゴールネットを揺らして見せる。さらに12分、先制点をアシストしたラマンが右サイドを駆け上がると、その折り返しをケヴィン・シュトゥーガーが合わせてリードを広げることに。さらにピッチを縦横無尽に駆け回るラマンは、今度は左サイドを突破し中央へ折り返すと、これをヘニングスが決め、キックオフからの16分で



3点のリードを奪うという、驚きの展開となる。

後半はどちらも得点のチャンスを作りながら、なかなか決めることができずに時間は進んでいく。終盤の83分にはデニス・ザカリアに

1点を許すも、その後は全員が身体を張った守備を披露。結局3-1でこのニーダーラインダービーに勝利したフォルトウナが、値千金の勝ち点3点を獲得することに成功した。

第31節

F95 4-1 SV WERDER BREMEN

第28節終了時点で今季の最大の目標であったブンデスリーガ残留を達成したフォルトウナだったが、日本代表FW大迫勇也を有し、2018年の年間最優秀監督賞を受賞したフロリアン・コーフェルト監督率いるブレーメンをホームに迎えた第31節でも、再び素晴らしいパフォーマンスを披露することとなる。

スタジアムはキックオフから47秒、最初の歓喜に包まれる。絶好調のラマンが左サイドからのセントリングを受けると、ヘニングスとのワンツーから抜け出し、落ちて着いて先制点を決めて見せる。そして圧巻は22分、自陣でボールを受けたケナン・カラマンがそこからドリブルを開始すると、相手選手4人を交わしながら60m以上を独走し、最後は自らゴールネットを揺らすパフォーマンスでリードを広げることに。

一方のブレーメンも28分、ビデオ判定の結果得たPKをマックス・クルーゼが決めて1点差に迫るも、フォルトウナの勢いを止めることはできない。56分、カウンターからヘニングスがセントリングに飛び込んでゴールを決めると、さらに73分にはマルクス・ズットナーが強烈な弾丸シュート突き刺し4点目。結局ゴールラッシュを見せたフォルトウナが、4-1で強豪ブレーメンも破るジャイアントキリングを達成することとなった。





1. F95 1-2 FC Augsburg



3. F95 2-1 TSG Hoffenheim

1 節

2 節

3 節

4 節

5 節

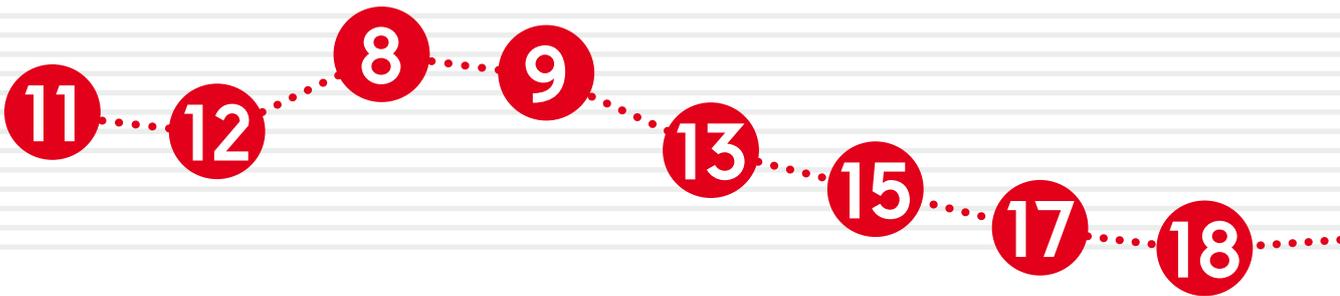
6 節

7 節

8 節



BUNDESLIGA



5. F95 1-2 Bayer 04 Leverkusen



7. F95 0-2 FC Schalke 04



8. F95 1-7 Eintracht Frankfurt



10. Borussia Mönchengladbach 3-0 F95



11. F95 4-1 Hertha BSC Berlin

9 節 10 節 11 節 12 節 13 節 14 節 15 節 16 節 17 節



12. F95 3-3 FC Bayern München



16 F95 2-1 Borussia Dortmund



17. Hannover 96 0-1 F95



18. FC Augsburg 1-2 F95



19. F95 0-4 Leipzig

18節

19節

20節

21節

22節

23節

24節

25節

26節

14

14

14

12

12

12

11

11

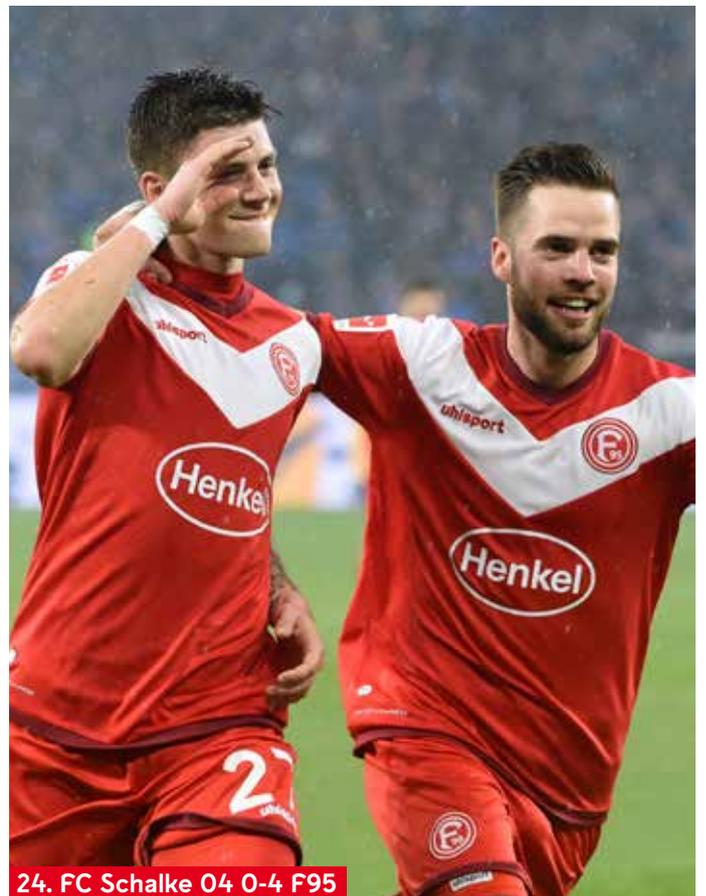
12



21. F95 3-0 VfB Stuttgart



23. F95 2-1 1.FC Nürnberg



24. FC Schalke 04 0-4 F95



27. F95 3-1 Borussia Mönchengladbach

27 節 28 節 29 節 30 節 31 節 32 節 33 節 34 節



31. F95 4-1 SV Werder Bremen



32. SC Freiburg 1-1 F95



33. Borussia Dortmund 3-2 F95



34. F95 2-1 Hannover 96

FORTUNA D

#GEKOMMEN



ÜSSELDORF

UMZUBLEIBEN





オリバー・フィンク

7 / Oliver Fink

オリバー・フィンク

Oliver Fink

ブンデスリーガで最も多くの経験値を有するフリードヘルム・フンケル監督が絶大な信頼を寄せるのが、フォルトウナで10シーズン目を過ごす“フィンキー”ことオリバー・フィンクだ。36歳になった今もトップレベルでプレーし、今シーズンのサプライズチームをキャプテンとして率いたベテランミッドフィルダーに話を聞いた。

まずは今シーズンを振り返ってくれるかな？

開幕前はどんな相手が待ち受けていて、どんな結果になっていくかわからなかったから難しかったよ。チームが機能するかも、新加入選手たちがフィットするかもわからなかったしね。そんな中でもボクたちは良いスタートを切ったんだ。でもそのあとに6試合連続黒星が続いたとき、正直リーグ残留は難しいとも思ったよ。そこから年末に3連勝することになるんだけど、そこでこの戦いを続けていけば残留できるという自信が持てたかな。それからボクたちはたとえ負けた試合でも、とてもいいパフォーマンスを披露できていたんだ。それを信じて続けたことが、素晴らしいシーズンに繋がったかな。

今シーズンのターニングポイントは？

6連敗のあと、ヘルタ・ベルリン戦に勝利したことかな。(その次のアウエーでの)バイエルン戦で勝ち点1点を取ったことも重要だったけど、その試合を前に連敗を止めることができたのはとても大きかったね。それからやはり年末の3連勝かな。そこまでの14試合で勝ち点9点しか取れなかった自分たちが、3試合で9点を奪えたんだからね。フライブルクには勝っても、(当時無敗で首位に立っていた)ドルトムントにも勝てたんだからね。そしてハノーファー戦はラストミニッツゴールだったけど、すべてが大事な勝利だったよ。

今年は多くの“ジャイアントキリング”に成功したけど、その要因は？

一番は誰もがチームのために戦い、そしてチームとして機能したことだよ。そのためにハードなトレーニングを積んだことも大事な要因かな。週末に厳しい戦いが待ち受けているのにトレーニングのクオリティが低かったらいいパフォーマンスはできないからね。それからビッグクラブと対戦したとき、10回戦ったら9回は負けるかもしれないけど、1回は勝つチャンスがあるものなんだ。それを今年のチームは掴むことができたし、それを掴むための準備ができていたということかな。

フィンキーはフォルトウナですでに10年プレーしてきたわけだけど、今年のチームが過去と比べて優れている部分はどこかな？

最も大きな違いは、多くの選手たちが過去よりもクオリティを持っていたことだね。それは試合でもトレーニングでも感じられたけど、それにより選手の状況に応じて多くのバリエーションを持つことができたよね。

チームのキャプテンとして気を付けていたり、手本にしている選手はいるかな。

そうだなあ、リバプールで長きに渡ってキャプテンを務めていたスティーブン・ジェラードは手本にしている部分はあるけども。でもボクにとって重要なことは、口で何かを言うのではなく、常に自分がまず行動をするということだね。そして例えば自分がベテランであっても、トレーニングで限界までしっかり追い込む姿を見せることかな。

フンケル監督はフィンキーに絶大な信頼を寄せていたよね。

そうだね、監督からは本当に大きな信頼をもらっているよ。だからチャンスももらったとき、それをしっかりと結果で



返すことができたことはすごく嬉しかったね。そしてチームからも信頼してもらえていたとは思っているよ。怪我から復帰してすぐに試合に起用してもらったときも、その監督の判断をチームが受け入れてくれていたからね。それは本当に有難いことだったよ。

今シーズン途中でさらに1年の契約延長をしたわけだけど。

誇りと感謝、この二言に限るよ。フォルトウナで11シーズン目を迎えることになるけど、これは昨今のサッカー界ではとてつもなく長い期間を意味するんだ。それだけ長い期間プレーさせてもらえることに感謝しているし、来シーズンもクラブのためにチームのためにプレーできることをとても嬉しく思っているよ。

来シーズンはどんなシーズンになると思う？

まず何よりも初めに、今年のようなチームを作らなくてはならない。それはクラブを去る選手と新しく加入してくる選手にもよるんだけどね。そして今シーズンはこのチームもボクたちを少しナメていた部分があったので、それに付け入るチャンスがあったけど、来シーズンはそうはいかないからね。

今では多くの日系パートナーや日本人ファンが存在するけど、そういうことは感じているかな。

もちろん。腕スポンサーはTOYO TIRESをはじめとして、スタジアムでも日系パートナーのロゴを多く見ているからね。そしてボクは良く日本人が多く暮らすエリアに行くんだけど、最近は声を掛けられるようになったんだ。こんなこと、過去のシーズンにはなかったことだよ(笑)。

最後にフォルトウナファンに一言。

連敗が続いた苦しいときも含めて、どんなときも大きなサポートをしてくれることに心から感謝しているよ。そしてそんなみんなにボクたちも結果で応えることができてとても嬉しく思っているんだ。だからこれからも一緒に戦っていきたいと思っているよ。

DANKE TAKA FÜR DEINE 2 JAHRE





2017年8月末にFCアウグスブルクから当時ブンデスリーガ2部に所属していたフォルトゥナヘレンタル加入した宇佐美貴史は、2017/18シーズンには28試合に出場し、4試合連続ゴールを含む8得点3アシストという結果を残し、原口元気(現ハノーファー96所属)と共に6年ぶりのブンデスリーガ昇格に大きく貢献。そして2018年の夏には、日本代表としてロシアW杯に出場した。

2018/19シーズンは自身4度目のブンデスリーガ挑戦となったが、合計で19試合に出場し、1得点3アシストを記録。チームが6連敗と苦しんでいる中で決めたヘルタ・ベルリン戦の豪快なゴールは、その後チームが上昇気流に乗るターニングポイントとなったとい

う意味でも、非常に重要な得点となった。

フォルトゥナに在籍した2年間で見た宇佐美のパフォーマンスはもちろんのこと、2018年5月にデュッセルドルフ市庁舎で行われた昇格イベントにて、詰めかけた1万人を超えるフォルトゥナファンの中で「僕はこの街が大好きなんだ。だから、、またね！」とドイツ語で挨拶した宇佐美の姿は、これからも長く語り継がれることになるに違いない。これから先の“TAKA”のサッカー人生において、更なる成功と幸運が訪れることをフォルトゥナー同心から願っている。

そして、「僕たちもTAKAが大好きなんだ。だから、、またね！」

タカ 2年間 ありがとう





U23

U23チームが4部リーグ残留決定

U23 bleibt in der Regionalliga West

ドイツ4部リーグのレギオナルリーガ・ウェストに所属するU23チームは、ウィンターブレイクに主力選手数人がチームを去る中、三宅海斗が15スコアラーポイント(8得点7アシスト)を記録する活躍を見せるなど大健闘し、最終戦を残してリーグ残留を決定することに成功した。

今シーズンは開幕からの13試合で3勝4分6敗と、なかなか波に乗れないスタートとなったU23チーム。それでも第14節で1.FCケルンU21から3-2の勝利を収めると、そこから5試合連続で複数得点(うち4試合は3得点)を記録するなど5連勝を達成し、三宅海斗も4試合連続ゴールを含む5得点を記録するなど、好調を維持して前期を8位で折り返すこととなった。

しかし後期リーグ開幕を前に、チームの主力選手だったMFムハイヤー・オクタイやMFタイラン・ドゥマン、DFグルカン・ギュルらが移籍すると、後半戦は再開してから5試合で未勝利となるなど(2分3敗)、再び苦しい時期を過ごすことになる。

それでも第27節SCヴィーデンプリュック戦で2019年最初の勝ち点3点を獲得すると、そこから3連勝し、リーグ残留に王手をかけること

に。そこからの3試合では再び勝利から見放されたが、それでも第33節のTVヘルケンラート戦に0-0で引き分けた結果、他会場の結果との関係性から、シーズン1試合を残してレギオナルリーガ・ウェスト残留を確定することに成功した。なお、今シーズンを通じてMVP級の活躍を見せた三宅は、8得点7アシストという数字を残すなど、飛躍の一年を過ごすこととなった。



アペルキャンプ真大がU23チーム昇格

Shinta Appelkamp rückt im Sommer in die U23 auf

U19チームキャプテンのアペルキャンプ真大は、今シーズンは11得点を記録し、チームのU19ブンデスリーガ・ウェスト残留に貢献すると共に、シーズン終盤にはU23チームの試合でもデビューを飾っており、来シーズンはドイツ4部リーグを主戦場に戦っていくことが決定している。

2015年からフォルトウナのユースアカデミーに所属する日独ハーフのアペルキャンプ真大は、これまでの4年間で着実な成長を遂げてきたが、特に今シーズンはキャプテンマークを巻き、多くの試合でチームを勝利に導いてきた。ミッドフィルダーでありながら11得点を記録していることからその重要性は容易に理解できるが、その得点力だけでなく、豊富な運動量と正確な技術は、ジニツシャ・シュカ監督率いるチームには欠かせない存在となっていた。

この活躍はクラブの中でも高く評価されており、代表ウィークで代表選手が数人いない時期には、トップチームの練習へ参加させるなど、次のステップに向けた準備を進めてきた。さらに今年3月には、U23チームの試合のメンバー入りを果たすと、早速第27節



SCヴィーデnbrリュック戦でデビューを飾っている。そして今シーズンはドイツ4部リーグでも5試合に出場しており、得点こそ記録で

きなかったが、その中でも十分に通用することを証明しており、来シーズンでのさらなる成長と活躍には大きな期待が掛かっている。

DEKA

Bürokommunikation

Telefonanlagen // Multifunktionssysteme // IT Service

あなただけに
最適なサービスを



KONICA MINOLTA

DEKA GmbH // Bahnstr. 150 // 41541 Dormagen • T +49 21 33. 77 66 - 0 // info@deka.tk // www.deka.tk

ユースアカデミーセンターが完成

Neues Nachwuchsleistungszentrum ist eröffnet



フォルトウナの将来を担うタレントたちのための新しいユースアカデミーセンターがフリンガンに完成した。これによりフォルトウナは、ドイツサッカー協会とブンデスリーガより最高評価となる三ツ星を獲得することとなった。

この新しいユースアカデミーセンターには、U9からU17チームのためのロッカールームが用意されており(U19チーム、U23チームはトップチームと同じ施設にロッカールームを保有している)、さらにU15チーム以上のロッカールームには、パソコンと連動させることがで

き、タッチパネルとなっている最新のスマートボードも完備されている。またミーティングルームやリラックスマルーム、自習室も用意されているほか、室内トレーニングエリア、マッサージルームも充実している。さらにカフェテリアでは、選手たちの栄養面を考えたメニュー

を提供することも予定されている。フォルトウナ所属のタレントたちは、この環境下で最高のサポートを受けてトップチームを目指して日々切磋琢磨していくことになる。この施設で育つ選手たちが、フォルトウナの明るい未来の礎を築いていくことは間違いない。



SUSHI KIKAKU

SEIT 1975



祝!ブンデスリーガ1部残留!
来季の活躍も期待しています!

Restaurant KIKAKU

Klosterstraße 38, 40211 Düsseldorf

Tel: 0211 357853

www.kikaku.de



Willkommen in der Welt der Farben, Papiere und Druckveredelung. Wir achten darauf, dass sich Funktion, Haptik, Ästhetik und Wirtschaftlichkeit optimal ergänzen. Ihr Design und unsere drucktechnische Kompetenz führen zu perfekten Ergebnissen.

Ob stanzen, prägen, laminieren, lackieren, einen Farbschnitt aufbringen, wir machen fast alles möglich. Wir drucken bis 70 x 100 cm im Offset oder digital mit modernster Technik.

Dicken Karton, Sonderfarben, Hybridprodukte. Mit Bemusterung vorab, mit Druckabnahme, mit dokumentierter Qualitätskontrolle. Auch über Nacht. Auch bis ans andere Ende der Welt. Unser Standort befindet sich 1 km vom Flughafen und der Messe Düsseldorf.

Wer bei uns drucken lässt? Natürlich die Fortuna, die DEG und weitere große Sportvereine. Bekannte Werbeagenturen fühlen sich bei uns wegen der hohen Termintreue wohl. Industriekunden schätzen unsere Beratung und Qualität. Die Stadt und der öffentliche Dienst mag unsere Preise.

Wir sind PSO- (ISO 12647) und FSC®-zertifiziert, drucken klimaneutral und alkoholreduziert (IPA) und erzeugen Strom per Fotovoltaik.

 **CLASEN**
≡ wo drucken zuhause ist. ≡

Clasen GmbH
Spielberger Weg 66
40474 Düsseldorf

Fon 0211-447290-0
Fax 0211-447290-60
mail@druckerei-clasen
www.druckerei-clasen.de

次の時代に、新しい風を吹き込んでいきます。



たくさんの感動をありがとう。

来シーズンも応援しています！

HITACHI
Inspire the Next

